

安達太良山・磐梯山噴火時の減災のため 緊急減災対策砂防計画の合同作業部会を行います

～学識経験者や防災行政関係者により
「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会」を開催～

火山噴火に伴う土砂災害に対して、緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）するために、火山及び砂防の学識者と防災行政関係者からなる委員会を平成22年度に設置し、福島県内の火山について減災計画の検討を行ってきました。

今回は、安達太良山・磐梯山の2火山について、安達太良山第4回作業部会(部会としては最後の予定)及び磐梯山第3回作業部会を開催し「火山噴火緊急減災対策砂防計画」の検討を行います。

会議：

「福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 安達太良山・磐梯山合同作業部会」
※参考資料 次第（別紙1）、名簿（別紙2）

日時：平成26年2月20日（木）
13：00～16：00

場所：コラッセふくしま 3F 企画展示室 ※位置図（別紙3）

内容：①安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画
「平常時準備事項の検討」及び「安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画（部会案）」
について

※概要（別紙4）

②磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画
「想定される影響範囲と被害の把握」について

※概要（別紙5）

記者発表先：福島県政記者クラブ、福島市政記者会、新潟県政記者クラブ、新潟新県政記者クラブ

問い合わせ先

福島県土木部砂防課

TEL：024-521-7491（直通）

主幹兼副課長 小川 辰壽

安達太良山について

国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所

TEL：024-546-4331（代表）

副所長（河川） 畠山 浩晃

調査第一課長 大平 知秀

磐梯山について

国土交通省北陸地方整備局 河川部

TEL：025-280-8880（代表）

地域河川調整官 上原 信司

建設専門官 福田 光生

平成 25 年度
福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会
合同作業部会

第 4 回 安達太良山作業部会

第 3 回 磐梯山作業部会

日 時 : 平成 26 年 2 月 20 日 (木) 13:00~16:00
場 所 : コラッセふくしま 3F 企画展示室

議 事 次 第

1. 開 会
2. 開会挨拶
3. 部会委員紹介
4. 部会長挨拶
5. 議 事
 - 1) 安達太良山について
 - ・ 第 3 回作業部会の指摘事項と対応方針
 - ・ 平常時からの準備事項の検討
 - ・ 安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画 (部会案) について
 - 2) 磐梯山について
 - ・ 第 2 回作業部会の指摘事項と対応方針
 - ・ 想定される影響範囲と被害の把握
 - 3) 今後の予定について
 - 4) その他
6. 閉会

福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 安達太良山作業部会名簿

(敬称略)

部会員	井良沢 道也	岩手大学農学部 教授
	植木 貞人	東北大学大学院理学研究科客員研究者
	佐藤 公	磐梯山噴火記念館 副館長
	長橋 良隆	福島大学共生システム理工学類 教授
	藤縄 明彦	茨城大学理学部 教授
	蒲原 潤一	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 砂防研究室長
	石塚 忠範	(独)土木研究所 つくば中央研究所 土砂管理研究グループ 火山土石流 チーム 上席研究員
	富永 茂	林野庁 関東森林管理局 福島森林管理署長
	飯塚 充由	林野庁 関東森林管理局 会津森林管理署長
	堀田 洋一	福島県 土木部 砂防課長
	小池 喜司雄	福島県 生活環境部 災害対策課長
	加藤 政樹	福島県 農林水産部 森林保全課長
	小林 香	福島市長
	前後 公	猪苗代町長
	品川 萬里	郡山市長
	新野 洋	二本松市長
	高松 義行	本宮市長
	押山 利一	大玉村長
	巻 和男	国土交通省 気象庁 仙台管区气象台 火山防災情報調整官
	小池 二郎	気象庁 福島地方气象台 防災管理官
	鈴木 勇治	国土交通省 東北地方整備局 河川部 流域・水防調整官
	上原 信司	国土交通省 北陸地方整備局 河川部 地域河川調整官
	安部 勝也	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所長

【事務局】

福島県土木部 砂防課
国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 磐梯山作業部会名簿

(敬称略)

部会員	井良沢 道也	岩手大学農学部 教授
	植木 貞人	東北大学大学院理学研究科客員研究者
	佐藤 公	磐梯山噴火記念館 副館長
	中村 洋一	宇都宮大学教育学部 教授
	長橋 良隆	福島大学共生システム理工学類 教授
	蒲原 潤一	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 砂防研究室長
	石塚 忠範	(独)土木研究所 つくば中央研究所 土砂管理研究グループ 火山土石流 チーム 上席研究員
	飯塚 充由	林野庁 関東森林管理局 会津森林管理署長
	堀田 洋一	福島県 土木部 砂防課長
	小池 喜司雄	福島県 生活環境部 災害対策課長
	加藤 政樹	福島県 農林水産部 森林保全課長
	前後 公	猪苗代町長
	小椋 敏一	北塩原村長
	品川 萬里	郡山市長
	室井 照平	会津若松市長
	山口 信也	喜多方市長
	五十嵐 源市	磐梯町長
	卷 和男	国土交通省 気象庁 仙台管区气象台 火山防災情報調整官
	小池 二郎	気象庁 福島地方气象台 防災管理官
	鈴木 勇治	国土交通省 東北地方整備局 河川部 流域・水防調整官
	上原 信司	国土交通省 北陸地方整備局 河川部 地域河川調整官
	丸山 準	国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所長
	池田 鉄哉	国土交通省 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所長

【事務局】

福島県土木部 砂防課
国土交通省 北陸地方整備局 河川部
国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所
国土交通省 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所

交通・アクセス



コラッセふくしま 3F 企画展示室

福島県福島市三河南町1番20号

TEL: 024-525-4089

●JR 福島駅西口より徒歩3分

福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 第4回 安達太良山作業部会の討議概要

日時：平成26年2月20日13:00～16:00
場所：コラッセふくしま(3F企画展示室)

● 目 的

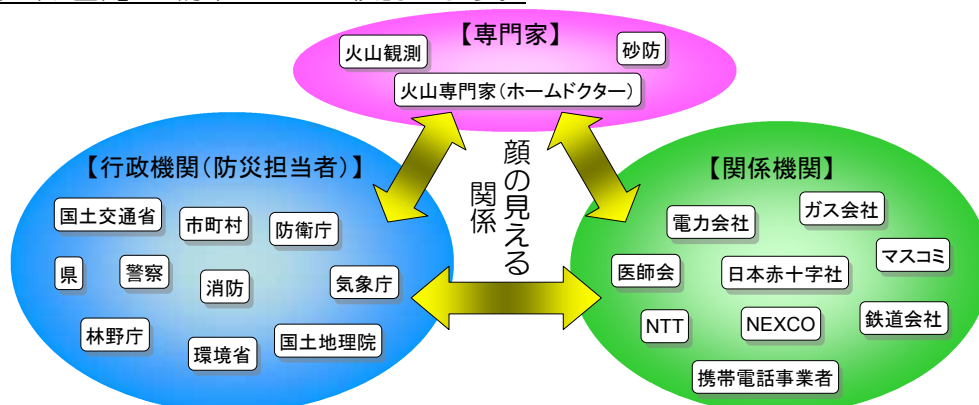
- ・本作業部会は、福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会（委員長：石川芳治教授（東京農工大学大学院））に設置され、安達太良山に関する個別の検討を行うことを目的としています。
- ・検討内容は、安達太良山の噴火シナリオとそれに基づく緊急ハード対策ドリル、緊急ソフト対策ドリル、平常時からの準備事項であり、これらを取りまとめた「安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画（部会案）」を作成する予定です。

● これまでの経緯と今回の討議内容

- ・平成24年11月6日に第1回作業部会を開催し、井良沢道也教授（岩手大学農学部）が部会長に選出されるとともに、緊急減災対策砂防計画検討の基本となる、噴火シナリオに関して主に議論を行いました。
- ・平成25年2月1日に第2回作業部会を開催し、噴火シナリオに基づいた被害影響範囲の想定、緊急減災対策の対策方針について主に議論を行いました。
- ・平成25年11月26日に第3回作業部会を開催し、緊急ハード対策、緊急ソフト対策の具体策について主に議論を行いました。
- ・今回の第4回作業部会では、緊急対策を実施するために平常時から準備しておく事項を検討するとともに、これまでの議論の結果を取りまとめた「安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画（部会案）」のとりまとめについて検討を行います。

● 平常時からの準備事項

- ・緊急対策を実施可能なものとするために平常時から進めておくべき準備事項（関係機関との調整事項や資機材の備蓄、火山防災ステーションなど）について検討します。
- ・緊急減災対策の実施には、関係各機関や専門家との密接な連携が不可欠です。緊急時にスムーズな連携体制を図るために、平常時から関係機関や専門家の間での『顔の見える関係（下図）』の構築について検討します。



● 安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画（部会案）のとりまとめ

- ・今回を含めて、4回開催された作業部会での検討結果を取りまとめた、基礎事項編と計画編および災害予想区域図集からなる安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画（部会案）のとりまとめ内容について議論します。

以上

福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会

第3回 磐梯山作業部会の討議概要

日時：平成26年2月20日13:00～16:00
場所：コラッセふくしま(3F企画展示室)

● 目 的

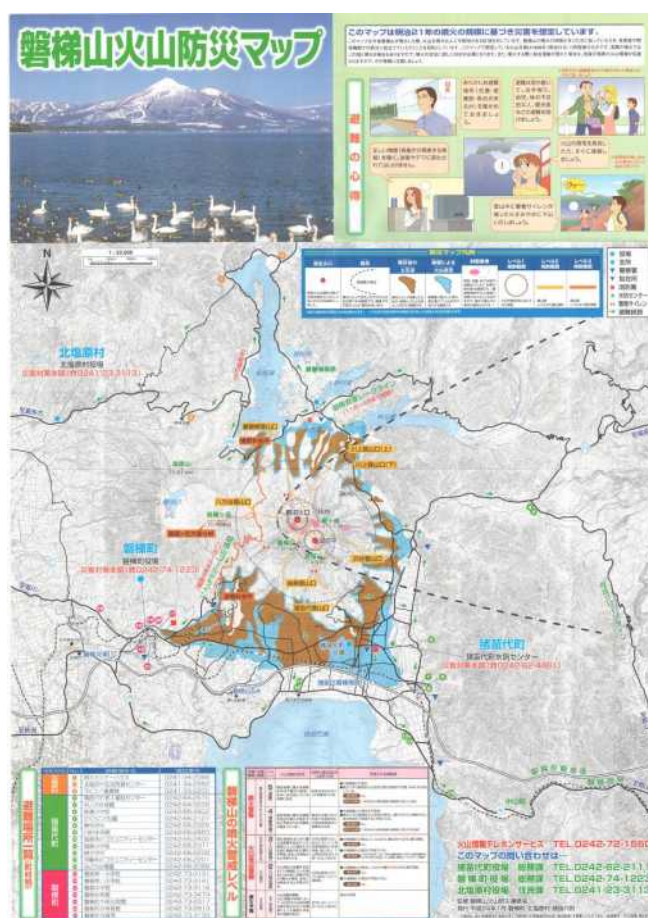
- ・本作業部会は、福島県火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会（委員長：石川芳治教授（東京農工大学大学院））に設置され、磐梯山に関する個別の検討を行うことを目的としています。
- ・検討内容は、磐梯山の噴火シナリオとそれに基づく緊急ハード対策ドリル、緊急ソフト対策ドリル、平常時からの準備事項であり、これらを取りまとめて「磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画（部会案）」を作成する予定です。

● これまでの経緯と今回の討議内容

- ・平成24年11月6日に第1回作業部会を開催し、井良沢道也教授（岩手大学農学部）が部会長に選出されるとともに、これまでの検討経緯や現状の把握、既往噴火シナリオの見直し方針について主に議論を行いました。
- ・平成25年2月1日に第2回作業部会を開催し、磐梯山の噴火シナリオについて主に議論を行いました。
- ・今回の第3回作業部会では、噴火シナリオに基づく、想定される影響範囲と被害の把握について検討を行います。

● 想定される影響範囲と被害の把握

- ・平成13年に公表された「磐梯山火山防災マップ」（平成24年に改訂版発行）では、1888年（明治21年）の磐梯山噴火と同程度で噴火した際、火山災害がおよぶ可能性のある区域を示しています。
- ・これに対して、火山噴火緊急減災対策砂防計画検討では、過去1万年間に発生した現象に基づき、噴火シナリオを設定しています。
- ・今回の作業部会では、前回の作業部会で作成した噴火シナリオに基づき、様々な噴火ケースにおける影響範囲の想定について討議を行います。



磐梯山火山防災マップ

（平成24年発行、磐梯町・北塩原村・猪苗代町）

以上